



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 東り株式会社

上場取引所 東

コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 荒木 陽三

TEL 06-6494-6691

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,651	5.1	120		45		67	
2022年3月期第1四半期	19,658	7.9	95		26		22	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 22百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 53百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	1.13	
2022年3月期第1四半期	0.36	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2023年3月期第1四半期	77,210		37,790		48.6	
2022年3月期	79,982		38,285		47.5	

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 37,531百万円 2022年3月期 38,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		8.00	8.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	4.4	800		600		450		7.47
通期	92,000	3.9	1,100	25.3	1,450	16.5	950	31.9	15.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	66,829,249 株	2022年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	6,642,769 株	2022年3月期	6,494,889 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	60,223,490 株	2022年3月期1Q	61,187,107 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、急激な円安の進行や原油・エネルギー価格の高騰、長期化する地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、新設住宅着工戸数が回復基調を維持しているものの、各種建築資材の高騰やサプライチェーンの混乱による供給不安が増幅し、事業環境は予断を許さない状況となっております。

このような状況の下、当社グループは長期ビジョン<TOLI VISION 2030>の実現に向けた中期経営計画『SHINKA Plus ONE』において、A. コア事業の強靱化、B. 伸びしろ事業の成長拡大、C. 第5事業の創造、D. グループ横断機能の強化、E. 成長を支える経営基盤の構築、の5つの重点戦略を推進しております。当期においては、昨年来の数次にわたる原材料コストの上昇に対応すべく、原価低減活動と共に、5月からの販売価格改定による収益改善に努めました。しかしながら、依然として原材料価格の高騰が続いており、昨夏以降、第3次となる販売価格の改定を9月20日より実施することといたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高20,651百万円（前年同期比5.1%増）、営業損失120百万円（前年同期 営業損失95百万円）、経常損失45百万円（前年同期 経常利益26百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失67百万円（前年同期 同四半期純利益22百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、販売数量の回復や販売価格の改定効果により、売上高を伸ばしました。

ビニル系床材では、昨年発売したビニル床シート見本帳「シートコレクション」が市場に浸透し、ワックスメンテナンスが長期間不要な床材「NWシリーズ」が好調に推移しました。また、4月にビニル床タイルとセラミックタイルの長所を兼ね備えた新・第3の床材「タフテックタイル」を発売し、市場への訴求に注力しました。

カーペットでは、昨年発売のグラフィックタイルカーペット「GXシリーズ」の拡販に注力しました。また、使用済みタイルカーペットを再利用した環境配慮型タイルカーペット「GA-3600 サスティバック」を6月に発売し、産業廃棄物排出量の削減にも注力してまいります。

壁装材では、堅調な住宅市場を背景に、汎用タイプのビニル壁紙「VS」や昨年10月に改廃したデザイン性と機能が特長の「パワー1000」が伸長しました。

カーテンでは、医療・福祉施設等各種施設向けの「コントラクトカーテン」が全体を牽引しました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は12,434百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

利益面では、販売価格の改定効果に加え、カーペット用ナイロン原糸内製化の推進やタイルカーペトリサイクルプラントの本格稼働等により製造原価低減が進んでおりますが、原材料コストの継続的な上昇により、セグメント利益は56百万円（前年同期比68.5%減）となりました。

<インテリア卸及び工事事業>

インテリア卸事業では、大口需要が減少傾向にある中、小口需要の獲得に注力したことに加え、仕入れコスト上昇分の価格転嫁を進めたことにより、売上高は前年同期を上回りました。また、東璃（上海）貿易有限公司は、上海エリアにおいてロックダウンが実施されましたが、同社の第1四半期（2022年1～3月）の業績に対する影響は軽微であり、増収増益となりました。

これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は13,600百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は74百万円（前年同期比305.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資 産>

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,465百万円減少し、44,373百万円となりました。これは主に、売上債権の回収等に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ306百万円減少し、32,836百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,772百万円減少し、77,210百万円となりました。

<負 債>

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,866百万円減少し、27,486百万円となりました。これは主に、仕入債務の支払等に伴う支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ410百万円減少し、11,932百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,277百万円減少し、39,419百万円となりました。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ494百万円減少し、37,790百万円となりました。これは主に、配当金の支払等により利益剰余金が減少したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月9日公表の業績予想数値から変更はありません。

なお、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,341	9,535
受取手形及び売掛金	18,899	15,549
電子記録債権	5,505	5,583
商品及び製品	7,722	8,724
仕掛品	1,328	1,567
原材料及び貯蔵品	1,800	2,166
その他	1,280	1,281
貸倒引当金	△38	△34
流動資産合計	46,839	44,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,296	7,219
機械装置及び運搬具(純額)	3,607	3,565
工具、器具及び備品(純額)	361	334
土地	8,371	8,371
建設仮勘定	2,382	2,461
その他(純額)	97	94
有形固定資産合計	22,116	22,046
無形固定資産		
ソフトウェア	821	745
その他	167	179
無形固定資産合計	989	925
投資その他の資産		
投資有価証券	4,705	4,598
繰延税金資産	959	988
その他	4,839	4,777
貸倒引当金	△467	△500
投資その他の資産合計	10,036	9,864
固定資産合計	33,142	32,836
資産合計	79,982	77,210

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,583	16,669
電子記録債務	5,493	5,804
短期借入金	920	1,220
未払法人税等	382	82
未払費用	1,644	1,425
賞与引当金	651	188
その他	2,677	2,097
流動負債合計	29,353	27,486
固定負債		
長期借入金	5,780	5,480
退職給付に係る負債	3,820	3,851
訴訟損失引当金	76	—
その他	2,666	2,601
固定負債合計	12,343	11,932
負債合計	41,697	39,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	24,231	23,680
自己株式	△1,467	△1,500
株主資本合計	36,045	35,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,702	1,629
為替換算調整勘定	176	354
退職給付に係る調整累計額	88	86
その他の包括利益累計額合計	1,968	2,069
非支配株主持分	271	258
純資産合計	38,285	37,790
負債純資産合計	79,982	77,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	19,658	20,651
売上原価	14,120	14,977
売上総利益	5,538	5,674
販売費及び一般管理費	5,633	5,794
営業損失(△)	△95	△120
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	80	79
仕入割引	19	19
保険配当金	40	43
その他	50	77
営業外収益合計	189	220
営業外費用		
支払利息	15	16
持分法による投資損失	14	110
その他	38	19
営業外費用合計	68	145
経常利益又は経常損失(△)	26	△45
特別利益		
投資有価証券売却益	48	6
特別利益合計	48	6
特別損失		
固定資産除却損	5	2
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	7	2
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	66	△41
法人税、住民税及び事業税	34	31
法人税等調整額	15	6
法人税等合計	50	37
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16	△79
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	22	△67

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16	△79
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136	△73
為替換算調整勘定	66	177
退職給付に係る調整額	0	△2
その他の包括利益合計	△69	101
四半期包括利益	△53	22
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47	33
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,816	12,842	19,658	—	19,658
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,989	49	5,038	△5,038	—
計	11,806	12,891	24,697	△5,038	19,658
セグメント利益	179	18	198	△171	26

(注)1 セグメント利益の調整額 △171百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,106	13,545	20,651	—	20,651
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,327	55	5,383	△5,383	—
計	12,434	13,600	26,035	△5,383	20,651
セグメント利益	56	74	130	△176	△45

(注)1 セグメント利益の調整額 △176百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。